

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○9月15日～

為替相場は今週の日米の金融政策を見極めたいという思惑で週の前半は動きのない状態が続く可能性があります。

週の後半は日米の金融政策の発表などで乱高下するリスクもあるためポジション管理には注意したいです。

先週は石破首相の辞任表明で、日本株は大幅上昇となっています。

日経平均も史上最高値更新となり、44500円を超えるような動きとなり、45000円も視野に入ってきてそうなところまでできています。

さらに、NY ダウも米国の利下げ期待から上昇し、46000ドルまで値を伸ばすなど高値圏での動きとなっています。

8月以降、米国の雇用統計に対する不信感が高まっています。後から大幅な下方修正が行なわれ、統計の数字が信用できないという声が出ています。雇用が思っているよりも悪い場合は、米国の利下げが継続して行なわれるという見方が強まっています。

日本は政治不安のため日銀が金融政策の変更をしにくいとため利上げ見送り、米国は今回0.25%の利下げ、年内3回程度の利下げになるという予想が多くなっています。

先週、ユーロ圏は金利を据え置きました。ラガルド・ECB 総裁が「デフインフレの進行は終了」と話したこともあり、ユーロには追い風になりそうです。

不動産も株も手が出しにくいほどの高値となっていますが実体経済や金融政策次第で大きく崩壊するリスクが今までよりも高くなっていることを考えるとマーケットのリスクオンの動きがいつまで続くか注意がいります。金(ゴールド)の上昇もまだ止まりません。

日本同様、フランスも政治が不安定な状況です。バイル前内閣の信任投票否決が財政再建を遅らす懸念が出ています。フィッチがフランス国債の格付けを引き下げて、シングル A 格にしました。日本も同じ状況になってくるという指摘もあり、新総裁が誰になるかで財政面での不安が高まるかもしれません。自民総裁選のニュースもしっかり見ていきたいです。

また、米国ではトランプ大統領の側近ともいわれたMAGA(アメリカを再び偉大に)活動の中心的人物であったチャーリー・カーク氏が10日にユタ州の大学で講演中に銃撃され、死亡した事件で内戦リスクが高まっているという情報もあります。

さらに、ロシアの無人機(ドローン)がポーランド領空侵犯をしたという報告を受け、国連の安全保障理事会で緊急会合が開かれ、ロシアへの非難が高まっています。

経済以外の不安材料も多く、急激にマーケットの雰囲気が変わってしまうことは想定しておかないといけません。

トレンドがはっきりするまでは、短期売買で様子を見ながらトレードしていきたいです。

今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

● テクニカルで見た重要ポイントは？

<ドル／円>

先週は週の初めは下落しましたが146.3円あたりで底をつけて、週後半は148円あたりまで戻し、147円台半ばでマーケットが終わっています。

148円台では上値が重くなる可能性があります。

149.3円を超えると節目の150円、それを超えると8月初めの急落前の150.9円が視野に入ります。

下値は146円を割り込むと142円台までの下落は想定しておいた方がよさそうです。

146.2－149.2円のレンジをブレイクするかどうか注目したいです。

<気になるクロス円>

クロス円も先週は堅調な動きとなっているペアが多く、ユーロも2024年7月高値の175円が視野に入ってきました。

オセアニア通貨(豪ドル、NZドル)も8月後半から上昇が続いています。

カナダドルは他のペアに比べると動きが弱く、下値不安がありますが106円あたりで何度か下げ止まってます。カナダは今週利下げをする可能性があるため106円割れには注意。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇／円というような通貨ペアのことです。

<今週のファンダメンタル？>

日本では8月貿易統計、7月機械受注、日銀金融政策決定会合、8月全国消費者物価指数、植田・日銀総裁定例会見などがあります。

米国では9月ニューヨーク連銀製造業景気指数、8月小売売上高、8月鉱工業生産、9月NAHB住宅市場指数、8月住宅着工件数、FOMC政策金利発表、パウエル・FRB議長定例会見、前週分新規失業保険申請件数、9月フィラデルフィア連銀製造業景気指数、8月景気先行指標総合指数、7月対米証券投資などが発表されます。

欧州では、ドイツとユーロ圏で9月ZEW景況感調査、ユーロ圏で7月鉱工業生産、8月消費者物価指数などがあります。

ほかには、カナダ、英国、南アフリカで政策金利発表、英国で英中銀金融政策委員会(MPC)議事要旨、ニュージーランドで4－6月期GDP、カナダと英国で8月消費者物価指数などがあります。